

## 公園緑地功労賞

公園緑地功労賞は、我が国における公園緑地事業及び都市緑化事業の実務に 多年従事して功労があり、かつ他の模範となる人に贈呈される賞で、平成5年に設けられています。

国、地方公共団体及び公益法人等の職員として公園緑地事業及び都市緑化事業の実務に20年以上携わり、年齢が65歳以上の者を選考の対象としています。

### 第31回公園緑地功労賞受賞者（敬称略・五十音順）

① おおたき しげお  
大滝 茂雄（65歳）

元 静岡市都市局都市局長

#### 受賞理由

氏は、昭和55年に静岡市に奉職して以来、長年に亘り都市公園の整備や緑化活動に携わり、都市局長を務めるなど、まちづくりに貢献した。特に、歴史文化の拠点である駿府城公園再整備では、評価の高い紅葉山庭園の建設に中心的な役割を担うとともに、「名勝日本平」における日本平公園整備では長年の懸案であった法規制対応を解決し計画の実現に貢献した。また、緑の基本計画の策定、法第5条の活用による民活導入、若手育成など、幅広い分野で豊富な知識と経験を活かし、本市の公園緑地の発展に貢献した功績は多大である。

② おおたに ひであき  
大谷 英明（67歳）

元 一般財団法人公園財団理事

#### 受賞理由

氏は、国営海の中道海浜公園（昭和56年10月）、国営昭和記念公園（昭和58年10月）、国営みちのく杜の湖畔公園（平成元年8月）、国営越後丘陵公園（平成10年7月）計4公園の開園業務に尽力したほか、45年間に亘り国営公園の管理運営に関わり、利用促進、利用者サービス、様々なルール等制定、地域との連携・貢献など、時代の変化にも柔軟に対応しながら管理運営を実践した。公園関係者、地域の関係者、ボランティアなど多様な人との協力関係を築き円滑な公園管理運営に結び付けてきた功績は大きい。

③ きど とくはる  
木戸 徳治（75歳）

元 東京都建設局西部公園緑地事務所工事課課長補佐

#### 受賞理由

氏は、入都以来36年間、公園緑地事業の計画から施工、維持管理、更には公共施設

の緑化や地域制度による緑地の保全と、多方面に活躍した。中でも、丘陵地の市街化が急速に進む中、昭和61年の第二次東京都長期計画に、自然保護への関心の高まりとレクリエーション需要の増大・多様化に応える施策として、土地の公有化とともに公園として適切な管理と適正な利用促進を進めていく「丘陵地公園」の整備事業を初めて位置付け、東京の緑の骨格となる丘陵地保全が大きく展開する契機となった。丘陵地公園は、東京都における里山保全の拠点として、2,000ヘクタールを超える都立公園面積の3割に迫り、その功績は多大である。

④ さいかみ けいえつ  
**妻神 敬悦** (69歳)

元 八戸市都市整備部長

**受賞理由**

市を代表する都市公園である「東運動公園」「八戸公園」「新井田公園」「南部山公園」の設計・施工に携わり、市職員として長年に亘って公園の整備や維持管理に尽力した。また、観光・ビジネス及び市民の憩いの場として親しまれる八戸駅前における緑化計画を策定し、第2回緑のデザイン賞において建設大臣賞を受賞するなど、都市緑化の保全・創出において顕著な功績をあげた。さらに、八戸市緑のマスタープランの策定に関する実務を担うなど、多岐にわたり市の公園緑地行政に貢献した。

⑤ しんざと りゅういち  
**新里 隆一** (71歳)

元 一般財団法人沖縄美ら島財団常勤参与

**受賞理由**

氏は、長年に渡って国営沖縄記念公園等の管理運営に携わった。園内全域の樹木や芝生の病害虫の発消長把握と予防策、おもろ植物園の展示効果向上の技術手法の確立、また、地域と連携して、沖縄の歴史的風致景観に配慮した自然植生の回復に取り組むなど尽力した。その他、コバノナンヨウスギの台風被害軽減のための剪定手法、セントオーガスチングラスの管理技術、強害雑草ハマスゲの除草に取り組むなど多大な功績を残した。

⑥ ちば よういち  
**千葉 洋一** (73歳)

元 青森市都市整備部公園河川課課長  
現 NPO パークメンテ青い森グループ会長

**受賞理由**

氏は、本市の都市公園や街路樹の設計整備及び維持管理を行うとともに、平成17年の浪岡町との合併後の青森市緑の基本計画の策定に尽力した。また、定年退職後は、本市を代表する合浦公園をはじめとした都市公園の指定管理者であるNPO法人パークメンテ青い森グループの会長として、今もなお都市公園の維持管理や緑化活動などに

日々尽力しており、本市の豊かな地域づくりや都市環境の創出に多大な貢献をしている功労者である。

⑦ やながわ はるひこ  
**柳川 晴彦** (67歳)

元 一般財団法人浜松公園緑地協会事務局長

**受賞理由**

氏は、長年にわたり、都市公園の維持管理や設計等に携わるとともに、花と緑の相談所や市民講座において講師を務めるなど、花と緑を楽しむ暮らしの提案や緑の大切さを幅広く伝え、浜松市の緑化の普及啓発に取り組んだ。一方、緑化事業や都市緑化に資するため開催された「モザイカルチャー世界博2009」や「浜名湖花博2014」のコンテストにおいて、設計や製作など責任者として従事し、『環境大臣賞』や『静岡県知事賞』など数々の栄誉を受けた。

⑧ やまむら おさむ  
**山村 治** (66歳)

元 神戸市建設局総務部担当課長  
(神戸市公園緑化協会公園部須磨離宮公園長)

**受賞理由**

氏は、昭和57年に神戸市に奉職して以来、40年間に亘り、都市公園の整備や維持管理、市街地の緑化・飾花等に取り組み、今日の神戸市の緑豊かな街づくりに貢献した。特に、神戸を代表する都市公園である「しあわせの村」の整備事業に携わるとともに、「須磨離宮公園」の園長として管理運営に尽力するなど、多大な功績を残した。さらに、阪神淡路大震災後には、被災した都市公園の復旧整備に携わり、花と緑を通じた市民協働による街の復興に取り組むなど、神戸市の公園緑地行政における功績は多大である。

(年齢・役職は、令和5年3月31日現在)